

「描く」～国土の地図を作る～



すべての地図の基礎となる地図を作っています

国土地理院が作る地図はすべての地図の基礎であり、国土を表す上で重要な役割を担っています。

実際に作っている地図は2つに大別され、道路・建物・川などの基本的な情報を国土全域にわたり整備している「基本図」と、基本図の上に断層や地形分類、土地利用等の情報を上乗せした「主題図」があります。

これらの地図は紙地図としてだけでなく、電子媒体でも提供され、地方自治体がハザードマップを作る際や、民間企業が観光マップや地図アプリ等を作る際のベースの地図として利用されています。みなさんも知らず知らずのうちに国土地理院の地図を使っているかもしれません。



国土地理院が作る地図

基本図

国土を表し、我が国の地図の基本となる電子国土基本図を整備しています。整備内容は「地図情報」、「正射画像（オルソ画像）」、「地名情報」の3項目です。

●地図情報

基盤地図情報*に、国土管理等に必要な構造物、植生などの項目を加え、我が国全域を覆う地図データとして整備しています。



●正射画像（オルソ画像）

地図と重ね合わせられるように位置や角度を調整した画像であり、地図情報の作成・更新資料として整備しています。



●地名情報

位置を検索する鍵となる基本的な情報として、居住地名、自然地名、信号交差点などの情報を整備しています。



* 基盤地図情報：デジタル地図上において位置を定めるための基準となる道路線、鉄道の軌道の中心線、建築物の外周線などの位置情報。

主題図

主題図は、地震・火山等の災害の予測や防災対策、調査・研究・教育のための基礎資料などに利用されるものであり、都市圏活断層図や火山土地条件図等があります。

都市圏活断層図は、地震によって甚大な被害が想定される全国の主要な活断層について、詳細な位置やずれの方向、関連する地形の分布等の情報をまとめたものです。

火山土地条件図は、過去に繰り返された火山活動により形成された溶岩流等の地形や噴出物の分布を分類して表示したものです。

ほかにも、地形の成り立ちや性質等を分類して表示した地図や、土地の標高を色分けして表示した地図も整備しています。



都市圏活断層図（熊本、八代）



火山土地条件図（御嶽山）

外国人にわかりやすい地図

訪日外国人旅行者の円滑な移動、観光先進国実現、2020年東京オリンピック・パラリンピックの円滑な開催に役立てるため、地図に記載する地名等の英語表記ルール及び外国人向け地図記号15種類を決定しました。これらは今後、国土地理院が外国語版の地図を作成する際の基準として適用するほか、地方公共団体や民間地図会社にも広く周知し、活用を促進していきます。

「地名等の英語表記ルール」

地名表記を日本語から英語に変換するためのルールであり、変換は置換方式もしくは追加方式により行います。

変換方式	置換方式	追加方式
変換例	筑波山 → Mt. Tsukuba	荒川 → Arakawa River
説明	筑波山を筑波 (Tsukuba) + 山 (san) と捉え、san を Mt. に置き換え	ローマ字表記の Arakawa に地形・種別を表す英語 (River など) を追加

「外国人向け地図記号」の例

項目	外国人向け地図記号	日本の地図記号
郵便局	✉	〒
交番	👮	×
ホテル	🏨	Ⓜ